明倫會規約

第一章　總則

第壹條　本會ヲ明倫會ト稱シ本部ヲ帝都ニ置ク
支部ハ全國所要ノ都市ニ置キ之ヲ明倫會某地支部ト稱ス
本部ハ全國各支部ヲ統制ス
第貳條　本會ノ目的ハ主義綱領ノ實施貫徹ヲ期スルニアリ

第二章　業務

第參條　本會ハ其ノ目的達成ノ爲メ大會及役員會ノ決定セル事項ノ外左ノ諸務ヲ行フ
一　各種ノ政務調査　二　機關雜誌竝文書ノ發行　三　講演演說會ノ開催　四　青年ノ政治訓練

第三章　役員

第四條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク
一　總裁壹名　二　副總裁壹名　三　顧問若干名　四　理事若干名　五　幹事若干名　六　評議員若干名
理事、幹事及評議員ノ任期ハ壹ケ年トシ重任ヲ妨ケス
第五條　總裁ハ本會ヲ統轄シ且之ヲ代表ス
第六條　副總裁ハ總裁ヲ輔佐シ總裁事故アルトキ之ヲ代理ス
第七條　顧問ハ總裁之ヲ委囑シ本會ノ概況ニ參畫ス
第八條　理事ハ評議員中ヨリ總裁之ヲ指名ス
第九條　幹事ハ評議員中ヨリ總裁之ヲ指名シ第十五條ニ掲クル擔任部門ノ會務ヲ掌ル
第拾條　幹事中若干名ヲ常務トシ總裁之ヲ指名ス
第拾壹條　評議員ハ會員中ヨリ理事會ノ推薦ニ依リ總裁之ヲ指名ス

第四章　大會及役員會

第拾貳條　大會ハ通常每年一回總裁之ヲ召集ス
第拾參條　評議員會ハ總裁、副總裁、顧問、理事、幹事及評議員ヲ以テ構成ス所要ニ應シ總裁之ヲ召集シ會務ノ大綱ヲ議決ス
第拾四條　理事會ハ總裁、副總裁、理事及幹事ヲ以テ構成シ通常每月一回定會ヲ開キ重要ナル會務ヲ審議決定ス
顧問ハ隨時理事會ニ出席シ會議ニ參加スルコトヲ得

第五章　本部ノ組織

第拾五條　總裁ノ下ニ左ノ各部ヲ置キ幹事ヲ以テ構成ス
一　總務部　二　政務部　三　統制部　四　宣傳部
右ノ外必要ニ應シ臨時調査部ヲ設クルコトヲ得
第拾六條　總務部ハ庶務會計人事及各部ニ屬セサル事項ヲ掌ル
第拾七條　政務部ハ政策政務ノ調査、研究、立案ヲ掌ル
第拾八條　統制部ハ會ノ組織、擴張、統制並青年ノ政治訓練ヲ掌ル
第拾九條　宣傳部ハ機關雜誌其他文書ノ發行及宣傳ニ關スル事項ヲ掌ル

第六章　會員

第貳拾條　會員ハ本會ノ主旨目的ニ贊同シ極心戮力之カ遂行ヲ約シタルモノトス
第貳拾壹條　本會ニ入會セントスルモノハ規定ノ入會費ニ會員貳名以上ノ紹介ヲ受ケ本部若クハ支部ニ提出シ總裁ノ承認ヲ受クルモノトス
第貳拾貳條　會員ノ會費ハ當分ノ內之ヲ徵收セス
第貳拾參條　會員カ本會ノ主義綱領又ハ規約ニ違反シ本會ノ體面ヲ汚損スル行爲アリト認ムル時ハ理事會ノ決議ニヨリ戒告又ハ除名スルコトアルヘシ

第七章　會計

第貳拾四條　本會ノ會計年度ハ四月一日ヨリ翌三月三十一日迄トス
第貳拾五條　本會ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ充當ス
一　會費　二　醵金　三　其他ノ雜收入

第八章　支部

第貳拾六條　本會ハ各道府縣々廳所在地ニ一支部ヲ設置シ場合ニヨリ當該管內主要都市ニ更ニ支部ヲ設クコトアルヘシ
第貳拾七條　支部ハ所屬會員約百名以上ヲ以テ構成スルヲ例トス
支部ノ規約制定、變更並ニ役員ノ任免等ハ支部每ニ之ヲ管掌シ總裁ノ認可ヲ受クルモノトス
第貳拾八條　支部長ハ支部ニ於テ推薦シ總裁之ヲ嘱託スルモノトス
第貳拾九條　支部ノ經費ハ原則トシテ各支部ノ自給トス

附則

第參拾條　本規約ノ改正ハ評議員會ノ議決ヲ要ス
但シ緊急ヲ要スル場合ニハ理事會ノ議決ニ依ツテ之ヲ行フコトヲ得
第參拾壹條　本部ノ業務實施ニ關スル細則ハ總裁別ニ之ヲ定ム

昭和八年五月十六日

東京市麴町區丸ノ內東京驛前
海上ビル舊館七階
明倫會本部
電話丸の內(23)三、六一八番

入會申込書

（地名人名ノ傍ニハ振假名ヲツケラレタシ）

氏名			年　月　日生
住所			
電話			
職業			
官等	役級		
現在所屬團體			
勤務先			
同所電話			
紹介者		印	印

右貴會ノ趣旨目的ニ贊同シ入會申込候也

昭和　年　月　日　右申込者（氏名印）

明倫會御中